



就職速報！今年も続々と内定者！

情報大の強みは“満足度の高い就職！”



情報大が力を入れているのは、地元企業への就職と満足度の高い就職。大学として初めて入会した福岡県中小企業家同友会と連携し、キャリア教育から就職まで、様々なサポートをしています。

特に、キャリアデザインセンター（就職課、以下「CDC」）のスタッフが地元福岡はもちろんのこと、九州各県で活躍している優良企業（安心して長く働ける企業）の中から個々の学生の希望や適性に合ったベストの企業を紹介しています。

今年も内定者からたくさんの喜びの声が大学に寄せられています。「就職決まった〜」「就活がんばったよ！」「希望どおりの会社に来て良かった！」……

将来の就職をどうしようかな〜と考えている高校生の皆さん、情報大は皆さんの就職を全力でサポートします。一年生からキャリア授業を用意、就活時には皆さんの希望や適性に合った企業を紹介しています。就活で不安なことがあっても大丈夫。CDCが履歴書の書き方や面接の受け方など、就活の初歩から丁寧に親切に指導しますから、悩みも一発解消です。情報大の卒業生は情報系の企業はもちろんのこと、流通、金融、製造、販売、公務員など幅広い分野で活躍しています。

大学は通過点です！将来、社会に出てバリバリ活躍したいと望むなら、“満足度の高い就職”ができる情報大がお勧めです。

今回の「情報大Topics」では就職内定者の声をお届けしましょう。

▼平岡 群生（ひらおか ともき）さん
情報ネットワーク学科 大浦ゼミ
内定企業：日産部品九州販売株式会社



一内定おめでとうございます。

ありがとうございます。決まってホッとしています。両親も喜んでくれました。

一内定はいつ頃出ましたか？

9月の終わりです。選考を受けたのは全部で4社でした。選考が進む中で、絶対この会社で仕事をしたいと感じた「日産部品九州販売(株)」から内定をもらうことができ、とてもうれしかったです。

一それはなぜ？

もともと車が大好きなので…。それと同じ日産系列の「日産レンタカー」でずっとバイトしていたこともあって、「日産部品九州販売(株)」の社員の方と、もともと仕事上のつながりができていたんです。実は、この「日産部品九州販売(株)」を受けるように勧めたのはバイト先の上司だったんですよ。バイトしておいて本当に良かった、とつくづく思いましたね(笑)。

一「日産部品九州販売(株)」について教えてください。

業務は日産の車の部品を日産の車のディーラーや整備工場などに卸

す仕事が主なものです。日産自動車に100%出資していますから、経営は安定していると思います。会社は福岡市博多区、福岡空港国際線ターミナルの目の前にあります。

一就職活動はいつから始めましたか？

4年生になる前の3月からです。就職活動が解禁になってから福岡ヤフオク！ドームで合同企業説明会に参加したのが最初です。そのような説明会には4回参加しましたが、自分が関心のあった企業のブースに積極的に話を聞きに行きました。



一どのような事を聞いたのですか？

事業内容だとか、新入社員の採用枠などですね。

一次にそれぞれの会社の入社試験がありますよね。

はい。ボクは4社受けたのですが、そのうち1社はかなり大きな企業だったので、他大学の応募者も多かったですね。結果的に内定を取れたのは面接が決めた手だったと思います。

一なるほど。面接で気をつけたことは？

まず大学で何を一生懸命やったかをきちんとアピールできることですね。実際の面接では、ゼミで勉強したことや、「CG Design (コンピュータグラフィックデザイン) 部」という部活に所属していたので、そこでの様々な活動や部員のマネジメントで努力したことを話しました。もちろん会社の業務と関連して、自分がどのようなことに興味があるのかをアピールすることも大事ですよ。あとは普段、友達と話しているような口ぶりにならないように気をつけました。だけでも言いたいことがきちんと説明できるようにリラックスも心がけました。「日産部品九州販売(株)」は3つ目に受けた会社だったので、多少は面接に慣れたこともあって、緊張せずに受け答えすることができたと思います。



一「日産部品九州販売(株)」の面接ではどのような質問がありましたか？

まずは当たり前ですが、志望動機を尋ねられました。そして自分が入社することで、会社にどのように役立てるかという質問がありました。ボクは、自分が「日産レンタカー」でバイトをしているので御社のことも知っており、だから即戦力として今すぐにでも職場に出られる、とやる気をアピールしました。そして若者のクルマ離れ傾向が目立つけれども、クルマ好きの自分が少しでもそのような傾向にストップをかけたいたい意気込みを話しました。

一そのほかには？

自動車業界で働くことをどう考えるか？という質問がありました。ボクは、日産が自動ブレーキの開発など技術面で日本でも随一だと思っていますので、自分もそのような企業グループの一員となって、「事故のない社会」が少しでも早く実現できるように頑張りたいと答えました。面接官の方は大きくなずいてくれ、手応えを感じました。

一次に情報大のCDCについてお聞きしたいと思います。サポートはいかがでしたか？

3年生まではあまり利用する機会がなかったので、正直に言うともっと事務的でよそよしいのかなーと思っていました(笑)。だけど実際は、すごく親身になっていると声をかけてくれたんです。特別に用はなかったけど、毎日顔を出していた時期もあったんですよ(笑)。CDCのスタッフの方々はいろいろと親切、丁寧に教えてくれました。履歴書の添削では大変お世話になりました。

—大学では大浦先生のゼミに所属していますよね。

はい。ゼミでは学生から取ったアンケート結果に関して、コンピュータを使って統計にまとめてその傾向を分析する研究などを大浦先生のご指導のもとで行いました。統計分析の方法など勉強になることが多く、会社に入っても売り上げ分析などで応用できるのではないかなと思います。



情報ネットワーク学科卒業研究発表会
テーマは「オタクの経済効果」

—大学の授業にはどのように取り組みましたか？

1年生の時からきちんと授業に出席して授業の単位を着実に取ろうと考えていました。その結果3年生終了時にすでに100単位をオーバーしてましたので、4年生になって比較的余裕を持って就活に取り組むことができました。いま振り返って見ると大学生活の4年間はあまり焦ることなく平均的にはゆとりを持って過ごすことができたかなーと思います。

—情報大の良いところは何かと思いますか？

やっぱり先生と学生の距離が近くてアットホームなところだと思いますよ。ボクは大浦ゼミの所属ですけど、岸川先生のゼミがロボット製作をしているので、おもしろそうだったから、もぐり込んでいっしょにロボット製作に参加させてもらっていました。それとヒマな時は、合田先生の研究室に押しかけて行って、お菓子食べながらおしゃべりしていました(笑)。そういう何げない時間って大学生活の思い出になるような気がします。

—最後に先輩の皆さんに対して一言お願いします。

何でもいから大学で何を一生懸命やったか、一つでいいからアピールできるものを持つことですね。それは就活でも武器になります。勉強でも、部活でも、アルバイトでもいから…。

—ありがとうございました。

▼登道 一太郎 (たてみち いちたろう) さん
経営情報学科 桑野ゼミ
内定企業：三洋ハウス株式会社

—内定おめでとうございます。「三洋ハウス(株)」について教えてください。

本社は鹿児島にあって、鹿児島や宮崎では広く業務展開している住宅建設の会社です。地元ではとても有名な会社で、TVのCMがよく流れているんですよ。

—他の企業も受けたんですか？

3社受けて、製造業の企業からも内定をもらっていたんですが、最終的には、「三洋ハウス(株)」に決めました。両親も大変喜んでくれました。



—「三洋ハウス(株)」の入社試験はどうでしたか？

まず一次面接は3人一組での集団面接で志望動機などを聞かれました。そして入社5年後にはどのような社員になっているか、という質問もありました。自分は人と話すことが好きなので、面接時間の半分以上は一人でしゃべっていましたよ(笑)。面接では、とにかく自分をアピールしようとハリキリました。筆記試験はパソコンを使って行いましたが、なんとか乗り切りました。二次面接では6人ほど志願者がいましたが、事前に受け答えを想定して準備したので、きちんと話すことができました。おかげさまで二次面接の直後に社長から、「内々定」の言葉をいただきました。内定をいただいたのがボクを含めて2人だけだったことは12月1日の内定式で知りました。

—就活を始めたのはいつ頃？

解禁日の3月1日ですね。4年になってから始めたのでは遅いと思います。ヤフオク!ドームで開催された合同企業説明会などには積極的に参加しました。福岡でも自分に向いていそうな企業を探したのですが、鹿児島で行なわれた合同企業説明会で「三洋ホーム(株)」の話聞いた時に「これだ!」と思いました。

—この会社は自分に向いていると思ったのですね。

営業職を募集していましたから…。営業という仕事は自分に向いていると思っていました。ボクは見ず知らずの人と話すのも苦になりませんし、しゃべるのが大好き。人と知り合うことで新しい世界が開けるからです。情報大のCDCのスタッフの方からも、君なら営業に向いている、面接試験も大丈夫だよと太鼓判を押されました。それと営業ですから売ってナンボの世界ですよ。そうなる自分取引先を開拓していかなければなりません。やってみよう!という気になりますよ。挑戦してみようという思いが強くなりました。

—就職についての大学側の対応について感想を教えてください。

まずCDCが何でも教えてくれたので本当に助かりました。就活を始めた頃は、まったく何にもわからなかったのですが、エントリーシートや企業に送るあいさつ文の書き方など細かいことまで、それこそ手取り足取り教えてくれました。

(エントリーシートとは：企業が就職希望者に提出させる人物調査。学歴・職歴・取得資格などのほかに、自己PR、志望動機などの項目がある。) それと大学の授業「キャリアデザイン入門Ⅰ・Ⅱ」(2年)、「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」(3年)が大いに役に立ったと思います。就職に向けた心構え、就活や筆記・面接試験に関する授業や、実際に経営者の方々に大学まで来ていただいて企業が求める人材像などのお話が聞けたことなどは、就活の様々な場面でも役に立ちました。



—部活についてお聞きします。あなたは陸上部で頑張っていますね。

はい。ハンマー投げをやっています。鹿児島県の競技会で優勝しました。部活のことも面接では聞かれましたが、投てきチームのリーダーとしていろいろ苦労したことなどを話しました。部活動を通じて上下関係の大切さなどを学びましたから、そのような経験は就活でも、そして入社しても役立つと思います。

—最後に先輩に向けてアドバイスをお願いします。

就活して感じたことは、自分をきちんと理解し、アピールすることが重要ということです。そのためには何を伝えるのが、事前にしっかりと準備をして、ハキハキと元気よく相手に話すことが必要ですよ。ボクは体も大きいけど、声も大きいです(笑)。

▼衣 起超 (い きちょう) さん
情報ネットワーク学科 車ゼミ
内定企業：アドバンストマネージメントコンサルティング株式会社

一内定おめでとうございます。まず会社について教えてください。

本社は福岡市博多区にあります。業務用のソフトウェアの開発を行っている会社です。たとえば病院の電子カルテ、コンビニのレジシステム、ネットを使った予約システム、農業収益のシュミレーションシステムなど様々です。中国でも事業展開をしていて、ボクの故郷の中国青島にも支社があるんですよ。



一日本で就職しようと思ったのはなぜですか？

子供の時から海外でIT技術を身につけたいと思っていました。特に日本はその方面でとても発展していますから、働くなら日本だと最初から決めていました。それにせっきく日本で勉強したのだから、やっぱり日本で就職したかったですね。



一就活は大変だったでしょう？

そうですね。エントリーだけでおよそ60社、面接や筆記試験は35社受けましたよ。本当に苦労しました。面接を受けてから3週間待って、その企業から全く返事がなかったときはさすがに落ち込みましたね(苦笑)。

一特にどんなことに苦労しましたか？

なにしろ35社受けましたから…(笑)。自分の志望理由を35社それぞれに書いて提出しなければなりません。これが本当に骨の折れる作業でした。もちろん日本語で書くわけですからね…。自分の書いた文章は必ず日本人の友達に見てもらって、添削してもらいました。

一就活はいつから始めましたか？

3月1日の就職解禁日のあと、とりあえず3月3日の合同企業説明会に参加しました。そのあといろいろな企業の説明会に精力的に顔を出しました。8月は特に一生懸命に活動しました。アルバイトもほとんど辞めて、ほぼ「就活一本」にしたいくらいです。生活費などが乏しくなったのですが、中国の両親が心配して配慮してくれました。感謝しています。

一「アドバンストマネージメントコンサルティング(株)」の試験を受けたきっかけは？

友達の紹介です。8月初旬の説明会に参加して、別の日の午前中に筆記試験、午後面接、その日の夕方すぐに内定が出たんです。すごく早いんですよね。ちょっとびっくりしました。

一それは早いんですね。でも決まって良かったですよね。ところであなたは日本語がとても上手ですね。

ありがとうございます。2009年4月に日本に来てもうすぐ8年目になります。当初は言葉は全然ダメで、「あいうえお」さえもわからなかったくらい(笑)。アルバイト先の従業員が全員日本人だったので、とにかく失敗してもいいから、自分から話しかけてなんとか日本語を上達しようと思いました。普段も意識的に日本人とつき合うようにして、日本語を使う機会を増やしました。やっぱり中国人だけだとかたまりと、中国語しか話しませんから…。

一情報大では車ピョンキ先生のゼミに所属していますね。

はい。PHP言語を使ってシステム開発の勉強をしています。最初はまったくわからなかったのですが、先生のご指導を受けてだんだん理解できるようになりました。ゼミで学んだことは、会社に入って

働く上での基礎になると思います。だから車ゼミに入って本当に良かったです。

一情報大で勉強しようと思ったのはなぜですか？

コンピュータやプログラミングについて専門的なことが学べるから。それと就職がいいからです。特にIT関係企業に先輩たちが多く就職しているので、情報大に入学したいと思いました。大学がいろいろな面で就職活動を支援してくれるし、すごく力を入れているのが分かりました。だから留学生でもあまり心配せずに、就活できたと思います。福岡にはたくさんの留学生がいますが、その中にはアルバイトをする目的で日本に来た人も多いです。そういう人はあまり勉強しませんから、結局日本で就職することが難しいですね。職を得たとしてもやりがいのある仕事ではないようです。情報大は授業の出席も厳しいし、内容も専門的で高度なので、やっぱり普段からきちんと自分から進んで勉強しなければいけません。でもそれは結局自分の将来と結びつくのだから、大事なことだと思います。



情報ネットワーク学科卒業研究発表会
テーマは、「KIIS 食堂予約システム」

一全くそのとおりです。さて学生生活は残りが少なくなりましてね。

そうですね。4月1日の入社式まで時間があるから、早く卒論を仕上げたいなあ～(取材は1/13)。

会社に入ったら遊ぶ時間もあまりないだろうし…(笑)。資格も取らなくちゃいけないし、忙しそうだからなあ…。

一そうですね。卒論頑張ってくださいね。いろいろとお話ありがとうございました。

▼奥村 水咲 (おくむら みさき) さん
情報ネットワーク学科 車ゼミ
内定企業：有田電器情報システム株式会社

一内定おめでとうございます。いつ頃決まったんですか？

11月の中旬です。正直言って焦っていましたがからホッとしましたよ。

一それはなぜ？

一般的には夏休みぐらいまでに内定をもらって、10月に内定式に呼ばれるのですが、私の場合、すでに11月に入っても内定がもらえなかったものですから…。そんな時期に、「有田電器情報システム(株)」から内定をいただき、最高にうれしかったです。



「新4年生就職活動開始」!

「福岡ヤフオク!ドーム」で開催される最大級の合同企業説明会を目前に、CDCでは新4年生を対象に就活☆応援イベント「証明写真撮影会&健康診断」を実施!

大学と提携している太宰府写真館による出張撮影でCDCは撮影スタジオに早変わり。証明写真10枚にフォトデータCD付で料金は☆☆☆無料。CDCは、スーツ姿の学生で溢れていました。また、健康診断は卒業生の就職先である(財)医療情報健康財団が実施。在学中、相撲部で活躍していた先輩卒業生が、3月から始まる就職活動に立ち向かう先輩の健康診断を案内してくれました。



— なるほど〜嬉しかったでしょうね。

はい。会社から手紙が届いたと実家の母親から電話があったんです。母に封を開けて手紙を見てもらったら、「内定のお知らせ」でした。母はうれしさのあまり電話口で泣いていました。あとから写メで内定通知を送ってもらいましたよ(笑)。



—「有田電器情報システム(株)」はどのような会社ですか？

主に企業向けのコンピュータソフトウェアの開発やホームページの開発などです。わたしは入社したらホームページの開発担当部署に配属予定です。会社は福岡県嘉麻市にあって、社員は20人ぐらいです。小さいけれど、会社のムードはとてもいいし、自分のやりたかった仕事をさせてもらえるので、本当に良かったと思っています。

—就活はいつ頃から始めましたか？

早かったですよ。3年生の後期試験が終わって、4年生になる前の2月に一泊二日の就活合宿(「合宿☆就活塾」福岡県若者しごとサポートセンター主催、情報大の学生18名が参加)に参加したのが就活の始まりになるのかな…。

—その「合宿☆就活塾」ではどういうことを学んだのですか？

就活の心構え、お辞儀の仕方、発言の仕方など本当に基本的なことです。印象的だったのが「模擬面接」で、面接官役の先生一人に対して学生3名ぐらいで面接試験の練習をするんです。模擬面接が終わった後、先生や学生たちみんな、お互いの発言内容やあいさつの仕方などの良かったところや悪かったところを批評しあうんですけど、これは自分が他者からどう見られているか把握することができてとても有意義な機会でした。この合宿のおかげで、自分もこれから就活するんだーっていう気持ちが湧いてきました。

—この合宿の後、どのように就活しましたか？

3月から合同企業説明会にいくつか参加しました。自分が関心を持った企業には、単独の説明会にも参加しました。

—そして「有田電器情報システム(株)」の入社試験を受けるわけですね。

そうです。実はその前に別の会社の最終選考まで残ったのですが結局ダメだったんです。それで落ち込んでしまって、1カ月ぐらい何にもする気がしなかったんです。そんな時に大学のCDCからこの会社を紹介されたんですよ。

—その時この会社について何か知っていましたか？

はい。大学の「キャリアデザインII」という授業で、社長さんがお見えになって特別講義をされましたから…。とても印象的で興味深いお話でした。将来性のある会社だなと思いました。この会社の

「合宿☆就活塾」!

昨年、2/12、13の福岡県若者しごとサポートセンター主催「合宿☆就活塾」(受講料無料)に本学学生18名が参加しました。

就職活動中の誰もが直面する面接の不安を解消するプログラムで、毎年大変好評です。

セミナー参加後にはいち早く内定を手に入れる学生も少なくありません。”自己PRができるようになった”、”面接の不安がなくなった”、”就活に前向きになれた”など参加者の満足度はなんと120%です。



ある嘉麻市と実家が近いので自宅から通勤できること、大学で学んだコンピュータやWeb開発の知識を生かせること、将来家庭を持った時のことも考えて入社試験を受けてみようと思いました。

—入社試験のことを教えてください。

一次試験は筆記と面接、二次試験は面接で、社長も面接官の一人でした。社長からは「今の日本はどことがダメか」という質問があって、わたしが「危機感がなくポヤッとしている」と答えたら、「それではどう克服すべきか」とかなり突っ込んで聞かれました。

—内定が出たのはあなた一人だけだったそうですね。

はい。会社が望む人間像は「素直で向上心のある人」というものでしたので、面接では自分がそうした性格の人間であることを極力アピールしました。これが内定をいただいた理由の一つだと思います。

—就活では苦労した点は？

いろいろあるんですけど…、一番苦労したのは自己分析です。履歴書に自分の長所や短所などを記入しなければならないのですが、なかなか自己分析ができなくて、いくら考えても思い浮かばず行き詰まってしまったんです。

—それでどうしましたか？

大学のCDCのスタッフの方が、「あなたってこういう感じの女性じゃないかな」とわたしの人物像をうまく分析してくれたんですね。これで壁をひとつ突破できたんです。

—なるほど…。それじゃCDCは役に立ったわけですね。

もちろんです。CDCのスタッフの方々の存在は大きかったですよ。就活でうまくいかなくて、モチベーション下がった時でもずっと応援してくれました。わたしのコーヒーの味の好みもわかるぐらいCDCに居座りつづけたんですよ(笑)。就活に勝利するためにはCDCをうまく利用することが必要だと思います。スタッフの方々は本当に親身になって相談に乗ってくれますよ。

—次に情報大で過ごした四年間の思い出についてお話してくれませんか。

2年生の時に校友会の書記として活動したことが印象に残っています。大学の先生やスタッフの方々といろいろな交渉や協議をしたことで、組織のあり方を学びました。

—そもそも情報大に入学した理由は？

Webページの作成について学びたかったからです。情報大に入って良かったですね。車ビョンキ先生のゼミで専門的なことをみっちり学ぶことができました。



情報ネットワーク学科卒業研究発表会
テーマは、「Webページを利用した卒論の登録・検索システムの開発について」

—あなたの場合、大学で学んだことを会社に入って生かせるのですから良かったですね。

そう思います。情報大はコンピュータやインターネットなどを専門的に深く学ぶことができるから、やる気のある学生にはとてもいい環境だと思います。簿記や経営の科目もあるから幅広く勉強できますよね。その点は専門学校とは違うところかな〜。

—4月までのご予定は？

ゆっくり遊びたいな(笑)。だけど2月には入社前研修があるんです。いまからちょっと緊張しています。

—そうですか。徐々に社会人になっていくんですね。がんばってください。